

## 受験生としての自覚を持つために

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

今日は、受験生としての自覚を一日も早く持とうというお話をさせていただきます。受験学習にとって大切なことは、「効果の上がる学習方法を工夫すること」と、「長時間の学習時間を確保すること」の2つです。この2つを実行するエンジンは、何と言っても「受験生としての自覚を一日も早くしっかりと持つこと」です。受験生としての自覚を持てば、長時間の受験学習も苦になりませんし、自分にふさわしい効果の上がる学習方法を工夫するようになるからです。

2. では、何が何でも希望校に合格するという受験生としての自覚をはっきりと持つためにはどうしたらよいか。それには、何のために進学をするのか・進学をして何をするのかを、はっきりと自分の力で考えぬくことが大事です。そのために目をカッと見開き、自分の力で世の中の動きや世界の動きを見定めることが大事かと思えます。

3. 世界の動きや世の中の動きを見定めるにはどうしたらよいかといいますと、私がお勧めしたいのは新聞を毎日熱心に読むことです。受験生こそ、毎日毎日しっかりと新聞を読んで世の中の動き、つまり、日本や世界の動きを見定めること。その上で、何のために学習するのかという学習の目的や進学をする目的、上の学校に行って何をするのかということをはっきりと自覚することが大事です。

4. 具体的には、夏休みに入りましたら「社説」を毎日読み続け、全文をノートに書き写す。わからないことばは辞書で意味を調べ、調べたことをノートに書き写すことをお勧めします。そうしますと、飛躍的に学力が身に付きます。

5. 一番大事なことは自覚を持って学習することです。そして、世の中の動きを知り、さらには、動きを知りながら新聞をしっかりと読むことです。新聞には難しい語句がたくさん出てきます。特に、社説は毎日毎日読み、できればそれを書き写す。自分の家の新聞の社説を一行おきに全部ノートに書き写し、わからないことばを辞書で調べて身に付ける。そうすると、自覚も身に付きますし、論理的な思考能力も身に付きます。さらには、たくさんのことばが身に付きます。

6. 「ことば」のことを難しいことばで「語彙(ごい)」、英語ではボキャブラリーと言います。学力で一番大切なのは自分自身が身に付けていることば、語彙、ボキャブラリーです。語彙、ことばの数をたくさん増やしてください。1日に10個知らないことばを調べて身に付けると、1か月で300個の新しいことばを知ることになります。1年では3650個の新しいことばを知ることになります。これは素晴らしいことです。もし、1日に30個新しいことばを身に付ければ、1年で10000個以上

の新しいことば、語彙を身に付けることになりますので、学力向上に非常に役に立ちます。

7. また、短期間で学力を飛躍的に向上させる上で最も有効な方法のもう一つは、毎日1時間以上読書に励み、思慮深さを身に付けることです。そのために夏休みは絶好の期間ですので、学校の教科書などで紹介された作品を中心に、受験学習だと思って読書に励んでいただければと思います。
8. このように夏休みにすべきことは2つ、1つは新聞を毎日読むこと、もう1つは学校の教科書などで紹介された作品を中心に読書に励むことです。読書によって身に付く能力は思慮深さです。しっかりと自分自身で考えて自分を振り返って人生を考える、自分の人生を自分の力で考えることです。これは、自覚を持って受験学習に励むのに非常に役に立ちます。新聞の文章や本の文章で気に入った文章が出てきましたら、「書き抜き読書ノート」にぜひ書き写してください。書き抜いたものを何回も何回も読んでいただきますと、受験生としての自覚が深まります。何のために学習するのか・何のために進学をするのか・進学をして上の学校でどのようなことを学習するのかが、はっきりと自分自身のイメージとして湧いてきて、それが身に付きますので、夏休みの受験学習にとって一番大切です。
9. 少し色々なことをお話しましたが、おわかりになられたでしょうか？受験生としての自覚をしっかりと持つと、学習の仕方も工夫をするようになります。また、長い時間学習しても辛くありません。そのために受験生としての自覚を持つことが大事かと思います。このように受験生の皆さんは考えてください。
10. この放送をお聴きのお父さんやお母さん、お爺ちゃん、お婆ちゃんは、ご自分の近くに受験生がいらっしやいましたら、「このような考えもあるんだよ」とご紹介していただければ有難いと思います。
11. ただ、夏休みに学習ばかりしてればよいかと言いますと、そんなことはありません。できれば日曜日には休んでいただいて、栃木県や群馬県、茨城県など北関東3県にはたくさん温泉があり、日帰り温泉は安い金額で入れますので、ぜひ日帰り温泉に行っていただきたいと思います。また、栃木県や北関東には自然豊かな県立公園などがたくさんありますので、ハイキングなどに行って自然に親しみながらリラックスをしていただければと思います。
12. 今日は、受験生の夏休みの学習の仕方をお話させていただきました。とにかく自覚を持って学習していただくようお願いいたします。栃木県、群馬県、茨城県の北関東の各県では、夏休みの最後に業者模擬試験があります。業者模擬試験でできるだけよい偏差値、つまり自分の希望する学校に合格できるだけの偏差値を取って、秋からの学習に励むことも大切です。各科目毎に得意科目・得意分野があると思いますが、得意分野については難しい問題にも挑戦し、不得意分野は教科書や易しい参考書でしっかりと理解をして、学習方法を工夫する。そして、生活に必要な時間以外は朝から晩まで長時間学習をすることも、受験学習には必要です。どんなことをしても8月末の模擬試験では希望する高校や大学に合格するだけの偏差値を取るんだという固い決意を持ち、受験生としての自覚を持って過ごしていただければ、充実した素晴らしい夏休みになるのではないかと思います。